

毎年 戦争遺跡の保存などを豊田市に要望しています

2014年9月8日

豊田市長 太田稔彦殿

豊田市の戦争関係の遺跡の保存などに関する要望書

豊田市平和を願う戦争展実行委員会 代表委員 篠田木末
富田好弘
松原勝巳

日ごろは豊田市民のためにご尽力ありがとうございます。

豊田市は平和市長会議に参加し、中央図書館において原爆写真展を毎年開催しています。世界の国々と平和友好を深め、国際交流に力を注いでいます。豊田市が平和行政において、さらに積極的な施策をとられることは多くの市民の願いであります。

豊田市平和を願う戦争展実行委員会では、「第27回豊田市平和を願う戦争展」を8月30日・31日に開催しました。1997年12月に第1回を開いて以来、市民の手で開催を続けてきました。今年は延べ1500名余の市民に参観していただきました。

戦争展の特徴は、市内の戦争実態を調べ展示していることです。たくさんの方々からの証言と現地調査をもとにしています。この取り組みを通して、豊田でも戦争の犠牲があったこと、貴重な戦争遺跡が現存していることが判明してきました。

しかしながら、貴重な遺跡が保存されていないこと、事実が正確に記録されていないことに残念な思いを抱いております。広島原爆ドームが世界遺産として世界の平和に大きく貢献しています。私たちの町の貴重な戦争遺跡を守ることは、私たちの世代の責務と考えます。遺跡の保存などに十分な施策がなされ、後世に引き継げるよう次のように要望します。

記

1. 戦争関係遺跡の保存・管理を早急に実施ください。

元名古屋海軍航空隊地下通信壕跡は竹やぶの中に埋もれています。岡崎海軍航空隊（郷飛行場）一送水ポンプ場あと・滑走路両側の排水溝の蓋石・海軍用地の石柱など。多くの遺跡が消えようとしています。

2. 戦争関係遺跡や戦争被害現場に記録板（記念碑）などを設置してください。

跡形のない場所がいたる所にあります。トヨタ工場爆撃の3箇所地点、広川町や名鉄電車への空爆地点は何もありません。体験者の記憶に頼ってはやがて風化してしまいます。

3. 戦争遺跡マップの作成と普及

遺跡マップを豊田市ホームページ掲載し、より多くの方に遺跡の事実を知らせてください。

4. 戦争（平和）資料館の設置

郷土資料館に併設し、豊田市近代史の重大な教訓を市民が共有できる場を作ってください。

以上の要望をご検討いただきご回答をお待ちしております。

連絡先 代表委員 富田 好弘

住所 豊田市竹元町ニッ池 6 番地 6

電話 0565-53-3357

資料

早く保存が求められている名古屋海軍航空隊通信壕跡(伊保原)

爆弾着弾跡地(下山地区)



市の回答

豊教財発 2642号

平成 26 年 11 月 10 日

豊田市戦争と平和を願う戦争展実行委員会 御中

豊田市教育行政部文化財課

豊田市の戦争関係の遺跡の保存と平和都市宣言などに関する要望書に対する回答

日頃は当市文化財行政にご理解いただき、誠にありがとうございます。

さて、過日いただきました要望書について、下記のとおり回答いたします。

なお、豊田市戦争と平和を願う戦争展実行委員会様から寄せられた要望と市からの回答は、氏名・住所等個人情報伏せた上でその要約したものを市のホームページにて公表させていただきますが、公表を希望されない場合は、この回答を受け取ってから1週間以内に文化財課 築瀬（電話32-6561）までお知らせください。

記

1. 戦争関係の遺跡の保存

- * 豊田市としては、戦争遺跡の保存にも取り組んでいます。
- * 平成7年には国際労働研修センター建設に伴い、弾薬庫及びRC製地下通路の測量調査を実施しました。
- * 野田味噌の味噌蔵（旧第三岡崎海軍航空隊格納庫）については、現在も野田味噌の施設として利用されています。今後とも保存を図るために、登録文化財候補として平成20・21年度に建物
物や履歴の調査を行い、現在は文化庁と協議中です。この他の岡崎海軍航空隊に関する遺構の記録は、『豊田市戦時関係資料集』第3巻にあります。
- * 名古屋海軍航空隊基地については、一部が（仮）第二浄水小学校建設に伴う開発予定地に含

まれるため、測量を平成 23 年度に現地を踏査しました。機銃陣地であった可能性のある土盛り等については、測量を行い、それらの成果を「平成 23 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書」（平成 25 年 3 月末刊行）で報告しました。また、平成 24 年度に確認した防空壕については「平成 24 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書」（平成 26 年 3 月末刊行）の報告書を掲載しました。

- * 平成 23 年 12 月に名古屋海軍航空隊の遺構 9 地点（地下通信壕ほか）を埋蔵文化財包蔵地として県遺跡台帳に登録し、開発に当たっては文化財保護法に基づく協議が必要になるようにしました。愛知県内では、戦争遺跡の登録は初となります。
- * なお、現在編さん中の『新修豊田市史』においては、今後刊行される『建築』そして『近代Ⅱ』の中で、名古屋海軍航空隊について掲載する予定であり、今後調査を予定しております。

2. 戦争関係の遺跡や戦争被害の現場に記録板（記念碑）の設置

- * B 2 9 の墜落した場所については、地元の設置した説明看板・記念碑があります。
- * 名古屋海軍航空隊の遺構については、名古屋刑務所の敷地および民地であり、自由に立ち入ることはできないため、看板等の設置はおこなっていません。
- * 看板は限られた予算の中で、全市的に設置・更新を行っているので、優先度や「設置許可などの条件が整う案件があれば、対応していきたいと考えています。
- * 被災地点については、工場跡地、線路敷などで看板等の設置は困難と考えています。

3. 戦争関係の遺跡マップ作成

- * 戦争に特化したマップの作成は考えていません。
- * 平成 23 年 12 月に県遺跡台帳に登録した名古屋海軍航空隊の遺構 9 地点（地下通信壕ほか）については、インターネット上の「マップあいち」や「とよた i マップ（豊田市地図情報サービス）」で位置情報を公開しています。

4. 戦争（平和）資料館の設置

- * 戦争に特化した資料館などの設置は考えていません。
- * 藤岡民俗資料館、小原郷土館、稲武郷土資料館には、常設展示の中で「模造歩兵銃」「軍隊手帳」「愛国婦人会の襷」などの戦時資料が展示されています。
- * 戦時資料・記録については、豊田市郷土資料館の常設展などでも機会を見て展示して行きたいと考えています。また、郷土資料館だより等に、戦争に関する記事を随時掲載しています。
- * 昭和 62 年に郷土資料館企画展として、「戦争とくらしー太平洋戦下の豊田ー」を開催しました。
- * 昭和 63 年～平成元年に『戦時関係資料集』（全 7 巻）を刊行し、戦争時の記録や資料についてまとめました。
- * 平成 7 年には郷土資料館特別展として、「1937-1945：人々の暮らしー戦時統制下の市民生活を中心にー」を開催しました。

以上